

北関東 防衛局 広報

2023.9
Vol.
116

目次 — CONTENTS —

- 2 令和5年7月14日付人事異動幹部紹介
- 3 第51回防衛問題セミナーを開催
- 4 令和5年度優秀工事等顕彰式
- 5 ノーザン・エッジ23-2における日米共同訓練の実施
- 6 わが町紹介（～新潟県上越市～）
- 7 地方防衛局のシゴト体験！～イベント企画～
- 8 防衛パネル展 in 護衛艦「はぐる」一般公開
- 9 事務所だより（～前橋防衛事務所～）
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・横田飛行場周辺の高さ制限
 - ・在日米軍従業員募集



松本城の天守閣と埋橋（写真提供：松本市役所文化観光部松本城管理課）



編集・企画発行：北関東防衛局総務部広報室 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>

管轄区域：東京都・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・長野県



令和5年7月14日付人事異動幹部紹介



北関東防衛局長 ふたまた 二又 ともひこ 知彦

7月14日付で北関東防衛局長に着任しました^{ふたまた}二又です。旧防衛施設庁を含め、地方協力・防衛施設などに関する仕事は今回で四度目となります。直近の北海道防衛局勤務からは10年以上が経過しておりますが、北関東防衛局は初めての勤務となります。新人の緊張感をもって、これまでに培ってきた経験を生かしつつ、職務を遂行したいと強く思っているところです。

北関東防衛局は、1都7県（東京、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、新潟、長野）という広範囲にわたる地域を担当し、管内には防衛本省をはじめ日米の重要な防衛施設が多数所在しています。

また、昨今の我が国を取り巻く安全保障環境は、厳しさを増すばかりです。

こうした中であって、自衛隊、米軍が任務を円滑に遂行するためには、まずは防衛施設を安定的に使用する必要があります、そのためには関係する地方公共団体や周辺住民、国民の方々のご理解とご協力が不可欠です。

我々北関東防衛局は何ができて、何をすべきか、私自身が先頭に立ち、考え、行動していきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。



北関東防衛局次長 **小森 達也**

7月14日付で次長を拝命しました小森です。当局での勤務は、10年ぶり二度目で、今回は調達部調達計画課長として勤務しました。

1都7県の広範な区域を有する当局管轄区域内においては、我が国の安全保障にとって極めて重要な防衛施設が多数所在しています。

これらの防衛施設が安定的に使用されていることは、ひとえに近隣住民の皆様や地方公共団体の方々の御理解と御協力の賜物だと考えております。

引き続き、皆様方の御理解、御協力が得られるよう、これまでの職務経験を活かし、信頼される施設行政に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総務部長 **武隈 正儀**

7月14日付で総務部長に着任しました武隈です。

旧東京防衛施設局時代を含め、北関東防衛局での勤務は四度目となり、慣れ親しんだ職場で勤務できることを大変うれしく思っています。

当局が所管する1都7県の広範な区域には、自衛隊及び米軍等の主要な施設が多数所在しており、その安定的な使用のため、引き続き地元の皆さまのご理解ご協力をいただけるよう日々の業務に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

第51回防衛問題セミナーを開催



令和5年6月16日（金）、さいたま新都心合同庁舎1号館2F講堂(埼玉県さいたま市)において、第51回防衛問題セミナーを開催しました。当日は約150名の方々が来場されました。

このセミナーは、「新!安全保障戦略始動!～迫る脅威に対する日本の防衛力強化～」をテーマとして、令和4年12月に閣議決定された新たな国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画の内容について、また、防衛力を支える人的基盤の強化に向けた埼玉地方協力本部における取り組みについて、地方公共団体や地域住民の方々などに理解を深めていただくことを目的として開催しました。

本セミナー当日は、最初に主催者を代表して扇谷北関東防衛局長（当時）が挨拶を行った後、第1部で防衛省整備計画局防衛計画課の伊藤晋哉課長（当時）から「新たな国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画」について、第2部では自衛隊埼玉地方協力本部長の高田軍司1等空佐から「防衛力を支える人的基盤の強化に向けて」と題して講演していただきました。

質疑応答では、参加者から出された「防衛費が増額されることによる影響はどういった事があるのか。」「防衛予算の国内産業が占める受注割合はどの程度か。」「日本の防衛を取り巻く問題の一つである、高齢化、少子化問題に対し、どういった取り組みをしているのか。」などの質問について、両講師からの丁寧且つ分かりやすい説明により、講演内容の理解をさらに深めることができました。

参加者からは、「三文書の内容が詳細に説明されとても分かりやすく、よく理解することができた。」「なぜ防衛力の抜本的強化が必要なのか分かった。」「自衛隊員のキャリアパスや国家間を超えた合同訓練による、隊員育成への取り組みが理解できた。」「隊員募集、再就職の仕組みがよく理解出来た。」など、多くの感想・ご意見を頂戴することができ好評なセミナーとなりました。

伊藤晋哉課長（当時）のご講演



高田軍司本部長のご講演



令和5年度優秀工事等顕彰式

令和5年7月6日（木）、北関東防衛局において、優秀工事等顕彰式が執り行われ、優秀工事9社、優秀業務2社、合計11社の企業並びに優秀工事技術者5名、優秀業務技術者2名、合計7名の技術者の皆様に顕彰状の授与が行われました。

この顕彰は、技術・品質が優れ他の模範となるにふさわしい工事、業務及び技術者を顕彰することにより、入札参加者の受注意欲を高め、建設工事及び工事目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的としています。



【優秀工事等受賞企業】

区分	件名	受賞企業名
優秀工事	府中(2)音楽隊庁舎新設建築工事 府中(3)音楽隊庁舎新設建築追加工事	青木あすなる建設株式会社 東京建築本店
	入間(3)庁舎新設等土木工事	株式会社富士工
	館山(3)宿舍改修建築その他工事	株式会社浅沼組 東京本店
	入間(2)受変電設備更新等工事	浅海電気株式会社
	目黒(3)照明設備改修工事	株式会社サンテック
	市ヶ谷(2)庁舎(D)設備更新等工事	大成設備株式会社
	府中(2)音楽隊庁舎新設機械工事	池田煖房工業株式会社
	入間(2)燃料施設新設等機械工事	株式会社精研
	十条(30補)熱源機器更新等機械その他工事	三建設備工業株式会社
優秀業務	目黒(2)事務棟新設等建築設計	株式会社中林建築設計事務所
	新潟(4)津波シミュレーション調査	株式会社パスコ

ノーザン・エッジ23-2における日米共同訓練の実施

令和5年7月、航空自衛隊は、日本国内及び周辺空域において、米空軍が主催する「ノーザン・エッジ23-2」に参加し、日米共同訓練を実施しました。

本訓練は、部隊の戦術・戦技技量、日米共同対処能力及び相互運用性の向上を図ることを目的とし、北関東防衛局管轄内では、航空自衛隊百里基地（茨城県小美玉市）及び海上自衛隊硫黄島航空基地（東京都小笠原村）並びにこれらの周辺空域等において訓練が行われました。

百里基地では、7月7日（金）から14日（金）までの間、米軍F-35A戦闘機及び航空自衛隊F-2戦闘機が参加し、硫黄島航空基地では、7月7日（金）から10日（月）までの間、米軍F-15E戦闘機が参加（航空自衛隊は人員のみ）しました。

本訓練は日米同盟の抑止力・対処力の強化の観点から有意義なものとなりました。

【関係自治体による懇談会・戦闘機見学会】

7月13日（木）には、百里基地内において、島田小美玉市長、鈴木行方市長ほか関係自治体の方々と第5空軍副司令官フリーデル准将並びに百里基地司令松浦将補による懇談会が行われた後、航空機見学会が実施されました。この見学会においては、F-35A、F-2戦闘機が展示され、米軍からは機体の説明が行われました。



百里基地関係自治体と懇談する第5空軍副司令官（右側中央）と百里基地司令（左側奥）



百里基地で米軍F-35A（左側）、航空自衛隊F-2（右側）を後ろに記念撮影

北関東防衛局が訓練を支援

【百里基地内に北関東防衛局現地連絡調整所を設置】

北関東防衛局では、この日米共同訓練の実施に際して、百里基地内に連絡調整所を設置し、百里基地との緊密な連携の下、関係自治体との連絡調整や訓練の実施に係る情報提供・通訳支援を行いました。

また、基地周辺5箇所に職員を配置し、共同訓練期間中における航空機騒音の実態を把握するための騒音測定を行いました。



騒音測定現場（かすみがうら市）

～暮らしやすく、希望あふれるまち～

上越市は、本州の日本海側のほぼ中央、新潟県の南西部に位置しています。

市の中央に流れる関川沿いに開けた平野部を山間部と海岸部が囲み、変化に富んだ地形と四季折々の美しい自然の中で、19万人の市民が日々の暮らしを営んでいます。人口規模は、新潟市、長岡市に次ぐ県内3番目の大きさです。

古くから交通の要衝として栄えてきた当市は、重要港湾の直江津港を有し、北陸自動車道、上信越自動車道といった高速交通網をはじめ、JRの北陸新幹線や信越本線、えちごトキめき鉄道の妙高はねうま、糸魚川ひすいラインなどの鉄道網も整備され、関東、関西、東北圏などとの交流を支える結節点となっています。

いずみじょうもん

泉縄文公園

陸上自衛隊の関山演習場は上越市南部に位置する上越市中郷区と妙高市にまたがる中演習場です。

その隣接に「泉縄文公園」があり、縄文遺跡の宝庫である上越市中郷区のシンボルとして、平成4年にオープンしました。

桜の名所として、また公園内にはバーベキューや水遊びができるエリアもあり、水と緑が豊かな憩いの場として親しまれています。



はーとぴあ中郷

「はーとぴあ中郷」は、コンサートなどが楽しめる広々としたホールのほか、研修室や和室、創作室、学習室、陶芸工房のほか、公民館機能も持った複合施設です。

世界三大ピアノと言われる「ベーゼンドルファー」をホールに備え、芸術文化を本格的に楽しむことができます。



「ベーゼンドルファー」を備えたホール

防衛施設周辺対策事業

地域との調和を図るため、防衛省周辺対策事業の助成事業を活用し、様々な施設整備等を実施しています。

近年では特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、スクールバスを2台購入しました。中郷区は特別豪雪地帯であることから四輪駆動の車両で、冬期も安定した走行を保ち、児童生徒の安全安心な登下校を支えています。



スクールバス

文・写真ともに上越市に寄稿いただきました。

地方防衛局のシゴト体験！～イベント企画～

グループで交流事業を企画中の参加者



架空の関係機関役と調整する参加者



ワークショップ中の参加者



当局では、6月15日に、国家公務員採用一般職試験(大卒程度及び高卒程度)の受験予定者を対象に、ワークショップ「地方防衛局のシゴト体験」を開催し、15名が参加しました。

同企画は、架空の米軍基地やその周辺自治体などを設定した上で、参加者が当局職員となり、関係機関と調整を行いながら日米交流事業を企画立案するというロールプレイング型ワークショップです。

当日、参加者は防衛省や地方防衛局についての業務説明を受け、職場見学をした後、5名1グループに分かれワークショップに取り組みました。各グループはそれぞれが交流事業を検討するにあたり、当局職員が扮する架空の各関係機関と調整・相談を行い、その内容を踏まえながらよりよい企画を目指しました。

シナリオは架空のものですが、関係機関役を務める当局職員は、日頃自治体等と実際に調整を行っている内容とそん色ないリアルな要望等を参加者に回答するため、参加者は地方防衛局業務の奥深さを実体験している様子でした。

終了後、参加者からは「自分の好きなように企画するだけではだめで、関係者の要望などを踏まえた調整がいかに大事か実感した」、「地方防衛局のイメージがより具体的なものとなった」といった声が聞かれたほか、「地元調整業務に携わってみたい」といった採用に向けた非常に前向きな意見もあり、今回の企画が進路決定や今後の目標設定の一助となったようです。

参加者の声

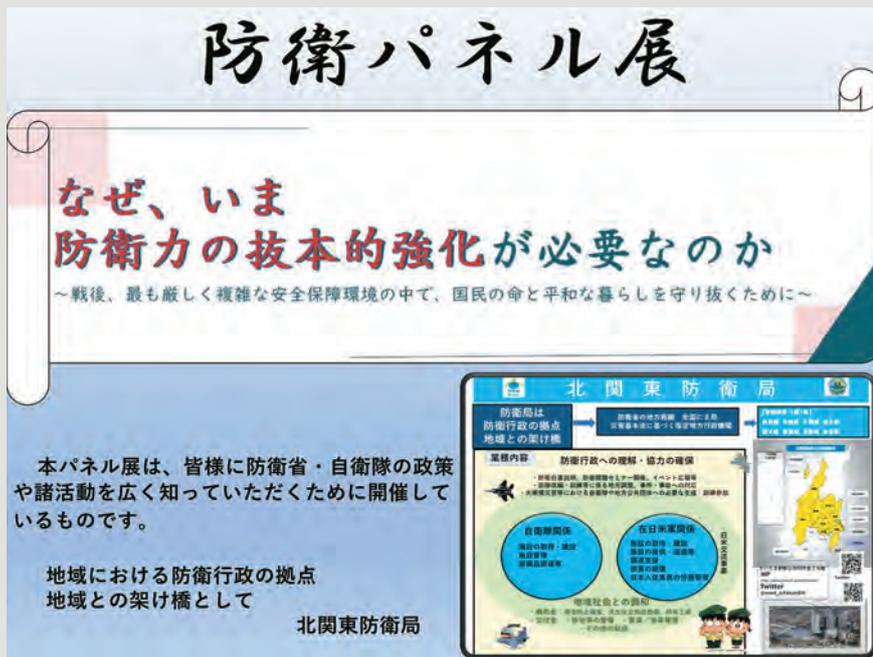
「自分の好きなように企画するだけではだめで、関係者の要望などを踏まえた調整がいかに大事か実感した」

「地方防衛局のイメージがより具体的なものとなった」

「地元調整業務に携わってみたい」

当局では、同様の取組を引き続き行ってまいりますので、
国家公務員を目指す方は是非ご参加ください！！

防衛パネル展 in 護衛艦「はぐろ」一般公開



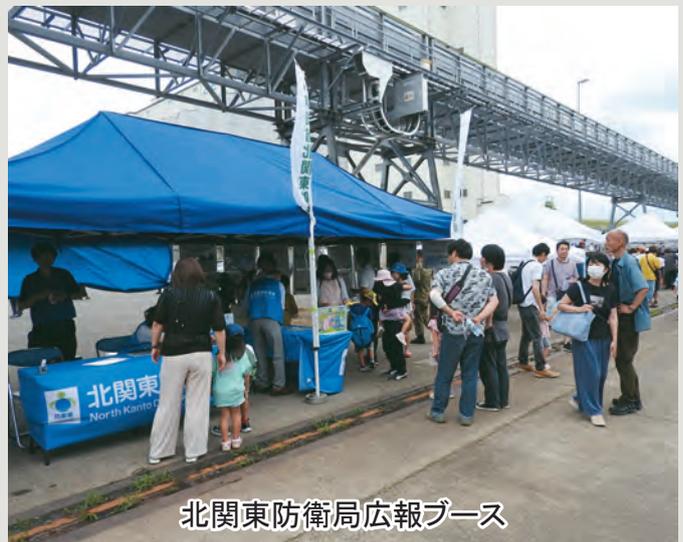
令和5年7月15日、16日に新潟東港で行われた護衛艦「はぐろ」一般公開において、防衛パネル展「なぜ、いま防衛力の抜本的強化が必要なのか」を開催しました。当パネルは、昨年12月に閣議決定された国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画の各ポイントをまとめたものとなります。併せてパネル展では、パネルクイズやお子様限定のクイズを催しました。パネルクイズでは、国の防衛の必要性や我が国への侵攻を抑止する上での鍵となるもの、5年間で必要となる防衛予算（契約額）を問うものなどに

答えていただくもので、挑戦者には解答・解説をお渡しするとともに、併せて、国家安全保障戦略パンフレット等の配布も行いました。ゲームは、お子様限定のキャラクターを探し出すゲームで、参加賞として自衛艦ペーパークラフトを準備しました。お父さん・お母さんが我が子の集中力に驚かれるなど楽しいひと時を過ごしていただきました。

初日は雨模様となりましたが、2日間で、パネルクイズやゲームに、延べ800名以上の方が挑戦・参加され大変ご好評をいただきました。



クイズに挑戦するご来場者



北関東防衛局広報ブース



ゲームに参加するお子様

今後も自治体施設や自衛隊駐屯地／基地イベントの場等を活用した防衛政策広報活動を行って参ります。防衛パネル展の開催については、都度X（旧Twitter）（@mod_kitakanDB #北関 #防衛パネル展）にてお知らせします。

皆様のお越しをお待ちしております。

信州の中央 自然と湧水の城下町 松本

前橋防衛事務所が所在する群馬県前橋市から車や電車で西方に約2時間半、長野県のちょうど中部に松本市は位置しています。今号表紙である国宝の松本城を中心に、市内には旧開智学校校舎（こちらも国宝です）や博物館・美術館等の文教施設が散在しており、また、郊外に出れば豊かな大自然を満喫できる上高地・乗鞍高原・美ヶ原高原、浅間温泉・白骨温泉といった温泉地が広がっております。

本記事では、松本市の名物の中からいくつか選んで紹介したいと思います。

1. 松本城

戦国時代、永正年代（1500年代初め頃）に造られた深志城が始まりと言われています。小笠原氏、武田氏の支配を経て、1590年の豊臣秀吉の天下統一に際してその配下である石川数正が入城し、現在の城郭の形に整備していきました。天守もこの頃に築造されています。

明治に入り、新政府の意向の元、日本各地の城郭が破却・破壊されていく中、松本城もその危機に瀕しました。しかし、地元住民の熱心な保存活動や修復活動の継続によって、今日にその雄大な姿を伝えております。

松本城は日本で5つしかない国宝指定の城郭であり、その天守は12しかない現存天守の一つでもあります。また、日本最古の五重六階天守でもあります。戦国末期の戦いのための堅固な天守と、平和な江戸期になってから造られた辰巳附櫓・月見櫓が複合しており、他の城郭に類をみない景観となっております。



松本城 秋の天守



上高地 岳沢湿原

2. 上高地

標高1,500mの上高地は、その美しく雄大な自然景観から、「特別名勝」と「特別天然記念物」の2つの指定を国から受けている、日本でも稀な景勝地です。一帯が中部山岳国立公園の特別保護地区に指定されており、幻想的な大正池、シンボルである河童橋、梓川や清水川の清流、穂高神社奥宮にある明神池など、美しいスポットが目白押しです。また、北アルプスの玄関口として、槍ヶ岳や穂高連峰への登山拠点にもなっています。年間120万人もの観光客が訪れています。

3. とうじそば

長野県のグルメと言えばそばが有名ですが、松本市内では、奈川地域の「とうじそば」がユニークな特徴を持つ郷土料理となっています。「とうじ」とは「湯じ」と書き、季節の野菜や山菜、きのこやカモ肉、油揚げ等をたっぷりだし汁に入れて鍋で煮立て、その中に、柄杓型の投げ籠に入れたそばをしゃぶしゃぶのようにくぐらせ、温めながら食べます。栄養価が高く、具材のアレンジが利く郷土料理として親しまれています。



とうじそば



女鳥羽の泉（善哉酒造）

4. 湧き水

松本市は周囲を山々に囲まれており、その地下に美ヶ原や女鳥羽川などの伏流水が流れ込むことで、豊富な湧き水が蓄えられた土地となっています。市内には多くの井戸・湧き水が散在しており、現代でも生活用水として利用されているものもあります。平成20年度には、環境省が選定する「平成の名水100選」に選ばれています。

松本市では、まつもと水巡りのポータルサイトを作成しており、パンフレットのダウンロードや市民記者による多様な紹介記事を読むことができます。

写真提供：松本市フォトアーカイブ、松本城管理課

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので**決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年1月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室 (東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) 防衛省本省 地方協力局在日米軍協力課	(代表) 048-600-1800 (内線:2225、2236、2226) (直通) 03-5362-4851
--	---

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設/米軍施設その周辺地域**(周囲約300m)の上空における**ドローン等の飛行は、原則として禁止されています。**

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法上の無人航空機の飛行禁止空域**においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、**防衛省HP**をご参照ください。

<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先 防衛省 北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室
【代表】 048-600-1800 (内線: 2225、2236、2226)

横田飛行場高さ制限について

飛行場には航空機の安全な運航を確保するため、航空機の離着陸の経路に当たる一定の空域に飛行場の規模に応じて建物等の高さに制限が設けられています。

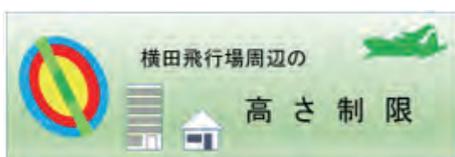
横田基地ホームページ(<https://www.yokota.af.mil/>)では、横田飛行場周辺の建物等の高さの制限を地図で確認できるサービスを提供しています。

利用方法

北関東防衛局ホームページ

(<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>)

トップページ右側のバナーをクリックすると利用方法が参照できますのでご利用ください。



高さ制限HP



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者
労務管理機構【エルモ】では、
在日米軍基地で勤務する従業員
の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。
下記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用下さい。



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所: 東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル4階

電話: 042-542-7663

担当施設: 横田飛行場、ニューサンノール米軍センター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報 検索

広報誌
バックナンバー

